長洞元気村ニュース

平成２３年５月１４日
復興　第　１　号

仮設住宅着工！

震災以来、多くの方々の協力とご支援により、いよいよ長洞に仮設住宅が建ちます。震災後の部落会の組織的対応が NHK の「週刊ニュース深読み」で紹介されたことで全国の注目を浴びることとなりました。長洞部落会の“絆（きずな）”が高く評価されたものです。これからも私たちの財産として大事にしたいと思います。建設着工に当たり、仮設住宅建設予定地を無償提供いただいた地権者の方々に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

提供いただいた地権者の方々
村上みき子さん（長洞）
村上　　強さん（長洞）
村上　英夫さん（長洞）
金沢　菊男さん（袖野）

これからは、仮設住宅でそれぞれ再建を目指すことになります。仮設とはいっても大事な２年間です。お互い声を掛け合いながら一歩一歩進んでいきたいと思います。子供たちの元気と若者の行動力と高齢の方々の苦難を乗り越えてきた知恵を集めて地域の復興活動に活かししていきたいと思います。また、住宅建設に当たっては仮設市街地研究会の方々の助言をいただきながら市への要請活動ができました。夜を徹して配置図や集会所の整備計画など被災者・地区民の要望を組み入れながら検討しまとめていただきました。

仮設市街地研究会のおもろい面々
代表　濱田甚三郎　首都圏計画研究所代表
原　　昭夫　まちづくり研究所所長
鳥山　千尋　ふれあいの家所長
森反　章夫　東京経済大学教授
江田　隆三　地域計画代表取締役

市の建設課もびっくりするほどの素晴らしい計画案でした。

仮設住宅着工の大きな力になったことは間違いないと思います。研究会の方々の思いを受け止めながら充実した仮設住宅生活にしたいものです。

これからの私たちの復興活動にもご支援・ご協力いただけるとのことなので、その発想・学識に期待したいと思います。

ふくかいちょうせいじのつぶやき

NHK のニュース深読みのディレクターである佐々木さんそしてアナウンサーの稲塚さんほかスタッフの方々、何度も長洞に足を運んで取材していただき、長洞地区の活動を全国放送で紹介していただきました。長洞地区として誇らしい思いを持つことができました、関係スタッフの方々に感謝ですね。感心させられたのはマイクを私に向けた時のスタッフの表情である。営業用なのかなとも思いながらインタビューに答えるのだが、受け手であるスタッフは必ずと言っていいほど笑顔で全身で頷き「そうだ。そうだ。そのとおりだ。」といった風の賛同するような納得するようなそんな感じの対応である。ついつい言わなくてもいいことまで言ってしまうこともあったが、聞き上手のプロの技かもしれない。そう思うことが何度かありました。朝日新聞社の論説委員石橋さんからもらった酒は口説き上手という山形の日本酒だった。聞き上手に口説き上手、震災を乗り越えたらそういわれるような洒落た男になっていたいもんです。